

令和3年度 全国学力調査経年分析

領域名	令和元年度			令和3年度			経年変化
	全国平均	本校	全国を1としたときの本校	全国平均	本校	全国を1としたときの本校	
国語	63.8	68	1.07	64.7	66	1.02	-0.05
算数	66.6	76	1.14	70.2	77	1.10	-0.04
生活・学習習慣	339.8	347.2	1.02	341.5	342.5	1.00	-0.02
自己有用感	251.1	272.4	1.08	157.3	154.6	0.98	-0.10
規範意識	284.6	294.4	1.03	192.3	193.9	1.01	-0.03
主体的な学び	216.8	198.1	0.91	224.7	233.3	1.04	0.12
対話的な学び	291.5	271.6	0.93	296.8	297	1.00	0.07
国語への関心	628.2	607.6	0.97	717	733.3	1.02	0.06
算数への関心	829	877.4	1.06	676.3	719.7	1.06	0.01

本校の状況

国語	全国平均は上回ったが、経年では0.05ポイント下がった。領域では「書くこと」が全国平均以下のため、自分の考えを分かりやすく書いたり、表現を工夫して書いたりする活動が必要。
算数	全国平均は上回ったが、経年では0.05ポイント下がった。領域では「測定」が全国平均以下のため、正確に測定し、数値化を図る力の育成が必要。
生活・学習習慣	全国平均とほぼ同数値であった。経年では0.02ポイント下がっており、起床時刻と計画的な家庭学習に課題が見られた。
自己有用感	全国平均以下であり、経年でも0.1ポイント下がった。夢や希望に対し、肯定的な回答は75.8%で、全国平均より4.6ポイント低い。自分の良さへの気付きについては、全国平均より1.9ポイント上回っている。エールウィークの取組やキャリアノートの活用を継続していく。
規範意識	全国平均とほぼ同数値であった。経年では0.03ポイント下がっている。「人の役に立つ人間になりたい。」に対して、全国平均より2.9ポイント上回った。今後も学校行事や委員会活動など、特別活動の充実を図る。「いじめ」に対する意識が全国平均より1.3ポイント低い。「いじめ」は絶対に許さない指導の徹底を図る。
主体的な学び	経年で0.12ポイント上昇した。「自分で考え自分から課題に取り組んでいる。」に対して、全国平均より8.1ポイント上回った。今後も課題に対して主体的に取り組む姿勢を大切にしていく。
対話的な学び	全国平均とほぼ同数値。道徳の学習において「自分の考えを深めている。」に対して、全国平均より8.3ポイント上回った。しかし、発言することに対して消極的な面があり、全国平均よりも12ポイント低い。相手に伝える力を意識的に指導していくことが求められる。
国語への関心	国語への興味・感心に対しては、全国平均より5.2ポイント上回った。領域では、書くことの工夫に対して全国平均より10.2ポイント上回り、その一方で話したり質問したりすることが全国平均より10.8ポイント下回っている。目的に応じて話したり質問したりする力の育成が課題である。
算数への関心	算数は、全ての質問で全国平均を上回った。習熟度別のきめ細やかな指導や、朝の計算タイム等の取組を、今後も継続して実施していく。